



いなほ

12月号

令和7年11月28日
日野市立豊田小学校
校長 東口 孝正

子供たちのよりよい成長に向けて

副校長 樋口 智子

いつまでも続くかと思われた猛暑の夏が過ぎ、コートや手袋が恋しい季節となりました。そして、長い2学期は、早いもので最終月となりました。

さて、本校では、12月に担任と保護者の皆様とによる「個人面談」を実施いたします。この個人面談は、今年度7月に引き続き2回目の実施となります。全ての保護者の皆様に対象として行った1回目とは異なり、2回目は保護者の皆様の意向に沿った「希望制」となります。これは、「大切な子供たちのよりよい成長に向けて保護者の皆様と対話を行いたい」という本校の教員の強い思いにより、今年度から2回に拡充したものです。保護者の皆様におかれましては、希望調査にご協力いただきまして誠にありがとうございます。教員が日程調整を図ったうえで、個人面談をご希望いただきました保護者の皆様に、お子様を通してご案内をお渡しいたしました。

東京都教育委員会では11月を「ふれあい月間」と呼称し、「いじめ防止強化月間」を設定しています。その期間、本校では独自の取組として「ふれいウィーク」を設け、担任と子供たちによる一対一での「個人面談」を実施しました。この個人面談は、休み時間はもちろん、時間割を特別時程にして、放課後を活用できるように工夫して行いました。

このように、本校では対面で話をする機会を大事に捉え、可能な限り設定をしています。

残すところ2学期はわずかとはなりましたが、子供たちのよりよい成長のために教職員一同、力を尽くしてまいります。保護者や地域の皆様におかれましては、引き続き、ご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

たてわり班活動について

月1回程度、1～6年生が混ざった班で遊ぶ活動をしています。遊びの計画と進行は6年生が行います。6学年が楽しめる遊びを考えるのは大変ですが、6年生がこれまでの経験を生かしながらアイデアを出し合い進めてくれます。

1年生を教室まで迎えに行ったり、「ルールを説明します。」「机を下げてください。」と、遊びの時間を確保できるように工夫したりしています。

2月は5年生が中心となって活動を進めます。しっかりとまとめてくれる6年生の姿を見て、活動を進めてくれるといいです。

